

施設名	指定管理者候補者名	事業計画概要	選定理由（選定委員会議事要旨）
東京都船形学園		<p>○児童一人ひとりの意思や個性を大切にし、児童が安全で安心した日常生活を送る中で、心身ともに健全な成長を遂げ、将来に向けた自立の意欲や生活力を育てていくことができるよう施設運営を行う。</p> <p>○児童の自立支援計画に基づき、児童相談所と連携して児童自身や家族・家庭の状況など現状分析を行い、自立支援会議やケースカンファレンスの充実を図ることにより、専門性の高いサービスを提供していく。</p> <p>○被虐待児や発達障害児等の支援困難な児童を積極的に受け入れるとともに、それに対応する支援技術の向上に向けて、研修計画に基づく専門研修の受講や創意工夫を生かした人材育成などに取り組む。</p>	<p>○児童の一人ひとりの生育歴を踏まえ、学校や児童相談所等の関係機関と連携・協力しながら、各々の特性や発達レベルに応じた自立支援計画を策定し、きめ細やかな支援を実施しており、引き続き質の高い支援が期待できる。</p> <p>○地域基幹病院との関係を発展させ、令和6年度から小児科医によるスーパーバイズ研修への協力に関する協定を締結し、児童支援に関する助言等を得るほか、医療的支援や相互の理解促進等のための連携強化を進めるなど、医療的ケアが必要な児童などへの支援向上に努め、公的な役割を果たしていることは評価できる。</p> <p>○地域や学校との連携を重視し自主防災訓練や地域の祭礼に協力するほか、園主催の地域交流行事やグラウンド・遊び場の開放を通じて地域との関係を深めるなど地域の一員かつ福祉資源としての事業運営を行っていることは評価できる</p>
東京都八街学園	社会福祉法人 東京都社会福祉事業団	<p>○児童の権利を擁護する施設文化を醸成し、個々の児童の状況に応じた最善の利益を施設全体で考え続ける。安全で安心した日常生活を送る中で、児童の将来に向けた自己実現を支援するとともに、被虐待や分離体験などの傷つきからの回復を支援していくことができるよう施設運営を行う。</p> <p>○児童の自立支援計画に基づき、児童相談所と連携して児童自身や家族・家庭の状況など現状分析を行い、自立支援会議やケースカンファレンスの充実を図ることにより、専門性の高いサービスを提供していく。</p> <p>○東京の福祉のセーフティネットとしての役割を引き続き担うため、虐待による様々な症状をもつ児童、情緒・行動上の問題を抱える高齢児童、他施設での支援が困難なため措置変更された児童等、特別な支援が必要な児童を積極的に受け入れていく。</p>	<p>○事前面接や入所時面接を経て生育歴や生活背景をとらえ、自立支援計画に生かせるよう、一人ひとりの子どもの将来の自立を目指し、計画的な支援が行える仕組みを入所当初から立案し、ねらいを定めた支援に努めており、継続的、総合的な期待できる。</p> <p>○被虐待児童、反社会的行為のある児童及び服薬管理等が必要な児童を多く受け入れており、関係機関と連携しながら、医療的・心理的ケア等の専門的支援の向上を図っている。また現場職員が主体的に研修に取り組むなど、公的な役割を果たしている。</p> <p>○学園が地域に開かれ、地域の一員として存立していくため、職員が地域社会を構成する一員としての自覚を持ち、地域活動へ積極的に参加するなど、日頃の地域活動を通じて信頼関係を強固なものにする取り組みを行っている。また学園の施設や設備地域に提供するとともに交流を積極的に行っていることは評価できる。</p>
東京都勝山学園		<p>○児童一人ひとりの意思や個性を大切にし、児童が安全で安心した日常生活を送る中で、心身ともに健全な成長を遂げ、将来に向けた自立の意欲や生活力を育てていくことができるよう施設運営を行う。</p> <p>○児童の自立支援計画に基づき、児童相談所と連携して児童自身や家族・家庭の状況など現状分析を行い、自立支援会議やケースカンファレンスの充実を図ることにより、専門性の高いサービスを提供していく。</p> <p>○児童や保護者の状況を的確に把握しながら、家庭的な養育に徹し、安全で安心な生活の確保と児童本位のサービスの提供を充実していくとともに、効率的な施設運営に努めていく。こうした取組を引き続き実施し、積極的に都立施設としての役割を果たしていく。</p>	<p>○児童の自立支援計画に基づき、児童相談所と連携して児童自身や家族・家庭の状況など現状分析を行い、自立支援会議やケースカンファレンスの充実を図ることにより、専門性の高いサービスを提供していることは評価できる。</p> <p>○個別の状況に応じてアセスメント会議を開催するなど、ケアニーズの高い児童への支援方法等を園内で共有し、施設全体で児童を支援する体制を整えている。また自主調理や出張料理の経験をし、自立に向け、食育推進にも取り組んでおり、引き続き児童を中心とした質の高い支援が期待できる。</p> <p>○学園行事への招待、地区祭礼や小中学校の除草作業等環境美化運動、災害時の相互支援などを通じて地域との交流・連携を一層促進させ、地域の一員として責任と役割を果たしていることは評価できる。</p>
東京都片瀬学園		<p>○児童一人ひとりの意思や個性を大切にし、児童が安全で安心した日常生活を送る中で、心身ともに健全な成長を遂げ、将来に向けた自立の意欲や生活力を育てていくことができるよう施設運営を行う。</p> <p>○児童の自立支援計画に基づき、児童相談所と連携して児童自身や家族・家庭の状況など現状分析を行い、自立支援会議やケースカンファレンスの充実を図ることにより、専門性の高いサービスを提供していく。</p> <p>○児童が地域の一員として安定した生活を送ることができるよう、また、都外で児童を養育する施設として、地域との良好な関係の維持・向上を図るなど、地域との連携強化に取り組む。</p>	<p>○児童の情緒の安定を図るとともに、自主性・自立性を育むため、家庭的な寮運営や寮調理を実施しており、より一層の家庭的養護の推進や自立支援の充実が期待できる。</p> <p>○被虐待児、心理的ケアや医療的ケアが必要な児童などの特別な支援を必要とする処遇困難児へ個別・専門的な支援を行うなど積極的に対応し、公的役割を果たしている。</p> <p>○園祭などの園の行事や町内お楽しみ会や地域と連携して実施する講演会など、様々なイベントを通して子どもたちと地域の人の交流できる機会を作っていることは評価できる。</p>